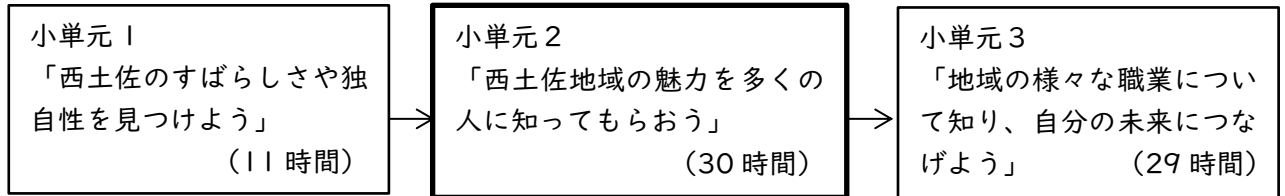


西土佐中学校 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年10月5日(水) 第6校時
 生徒数 13名
 指導者 栗本 健
 三石 裕子
 下山 歩

I 単元構想図

単元名 「仕事発見 ～地域貢献と私の未来～」 全70時間
 小単元2 「西土佐地域の魅力を多くの人に知ってもらおう」(32時間)



◆学習の流れ

きっかけ

昨年度の総合的な学習の時間の小単元2「西土佐の特産品をアピールしよう」の中で、『観光客来てください!!』をテーマにどうしたら西土佐に観光客が来てくれるか考え、自分たちに出来ることとして動画を作成しアピールする学習をした。作成した動画は、修学旅行で宿泊した関西方面のホテルで流してもらおう予定だった。

今年度は、昨年度作成した動画を生かすことはできないか考え、総合のテーマを『西土佐の魅力を知り、その魅力を多くの人に広め、地域を盛り上げよう』とした。小単元1の「西土佐のすばらしさや独自性を見つけよう」では、5月に実施した修学旅行(感染症の影響で延期になっていた)で、他の地域の特徴を知ることにより西土佐について改めて考えることができた。その後、動画を生かした取組として誰に発信していくのか具体的に考えた。

第1次 課題の設定(4時間)

目標達成に向けたゴールを設定し、これからの取組内容について具体的に考えよう。

- 何をすれば目標達成できるのか考える。(目的意識)
- 西土佐地域の魅力を誰に発信すべきかを考える。(相手意識)

◆西土佐地域の現状や課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てることを意識させる。

◆意識の流れ

- ・四万十川より仁淀川の方がきれいだったね。
- ・川の美しさは負けているけど、食べ物は負けてないよね。
- ・海に近い地域の食事は、やっぱり海の食べ物が多かったね。
- ・室戸には、防災タワーがたくさんあったね。
- ・災害の違いもありそうやね。
- ・他の地域との違いや地域の特色をまとめてみよう。
- ・西土佐の魅力をどうやって発信する？

- ・何のために？(目的意識)
- ・観光客に来てもらうため!!
- ・誰に？(相手意識)
- ・中村の人たち!!
- ・中村の人たちに西土佐の魅力を知ってもらおうことを目標にしよう。
- ・リモートより、直接、口で言った方が説得力があるよね。
- ・どういうプレゼンにしたら伝わるだろう？
- ・中学生は、楽しいと思ったり遊びたいと思ったりすることをアピールしよう。
- ・中学生だけでは来ることができないから大人も来るので、大人には食べ物をアピールしよう。

第2次 情報の収集（12時間）

各班のテーマをもとに、西土佐の特色や魅力について調べよう。

- 米ナス栽培を体験しながら、農家の方々に活性化について話を聞く。
- 再確認した西土佐の魅力について、発信すべき情報を探す。
- 西土佐を知ってもらうために、相手に伝わるプレゼンをする。
- 実際に伝わったか、アンケートを実施する。

- ◆地域における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫について考えさせる。
- ◆自他のよさを生かした協働学習の中で、地域のために自分自身に何ができるか見つけさせる。
- ◆西土佐地域に携わる人々との学習を生かし、伝える相手や目的に応じて、伝え方を工夫しながらまとめさせる。

第3次 整理・分析（6時間）

西土佐地域のプレゼンは相手に伝わったのか、効果的だったのか、アンケート結果から探ってみよう。

- アンケート結果を項目別に集計する。
- 効果のあった部分と検討する必要がある部分を整理する。
- 今後、自分たちにできることは何か意見を出しながら検討する。

- ◆探究活動を通して、身の回りの物事に対しても深く考えることができるように促す。
- ◆集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連付けて考えるように呼びかける。

第4次 まとめ・表現（8時間）

文化祭で、これまでの学習について分かりやすく発表しよう。

- プレゼンをしてみての感想やアンケート結果をもとに発表する内容を考える。
- 相手を意識して分かりやすく発表する。
- 活動を振り返り、今後の生活で何ができるか考える。

- ◆伝える相手や目的に応じて、伝え方を工夫しながらまとめ、表現させる。
- ◆自分のこれからの生き方と関連付けて考えるよう意識させる。

- ・西土佐の魅力が伝わるようなプレゼンをして、人を集めよう！！
- ・まずは、スライドの改善やね。
- ・昨年の動画を利用して、新しく作ろう！！
- ・昨年度から始めた米ナス栽培も体験して、話も聞いてみよう！！
- ・露地栽培世界一とは知らなかった！！
- ・もう一度、西土佐を調べなおしてプレゼンを作ろう。
- ・聞く人は、パンフレットもあると分かりやすいね。
- ・どんな内容が分かりやすいかな？
- ・文を簡潔に修正しよう。
- ・伝えることをもう少し強調しよう！！
- ・相手の視点を大切に修正しよう。
- ・西土佐のことが伝わったかアンケートも取ろう！！

- ・アンケート結果どうなった？
- ・西土佐の魅力は、少ししか伝わらなかったね。
- ・西土佐は知っているけど、来たことのある人は少なかったね。
- ・どういうプレゼンにしたらよかったのか、考えてみよう。
- ・効果があった部分と課題を出し合おう。
- ・プレゼンを聞いてくれた中学生に、西土佐に来たかに調査してみる？
- ・そうだね！！調査しよう！！
- ・調査するまで、私たちがそれぞれの地域でできることはないか考えてみよう。

- ・文化祭での発表内容どうする？
- ・感想やアンケート結果を発表して、これから私たちのすることを発表しよう。
- ・西土佐の魅力を伝える取組をしたけど、西土佐の活性化につながるかな？
- ・まだまだ、私たちにできることがあるんじゃないかな？
- ・地域の人と一緒にできることはないかな？？
- ・みんなで考えてみよう！！

単元でつきたい力

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。
- ・集めた情報を、視点を定めて整理・分析し、自分の考えを形成する。【知識及び技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・探究的な活動を通して、異なる立場、異なる考えを認め、理解しようとする。
- ・課題解決に向けて、目標をもって粘り強く取り組もうとする。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元は、中学1年生の総合的な学習の時間で作成した動画をもとに、地域の魅力を発信することにより地域に来てくれる人が増え地域の活性化が図れるのではないかと構想した内容である。

日本を代表する四万十川や周りを山に囲まれた西土佐地域には、地域の特色を生かした生産物やその生産物を生かして地域の活性化を図ろうと取り組んでいる方々もいる。昨年度から地域の特産物である米ナスについて学習しており、今年度も昨年度に引き続き学習している。その方々の思いも知りながら、地域の活性化に少しでも貢献するために何ができるのか考えることが、自分や地域の未来につながると考える。

○生徒観

本学級の生徒は、昨年1年時の総合的な学習の時間の小単元2「西土佐の特産品をアピールしよう」の中で、『観光客来てください!!』をテーマにどうやったら西土佐に観光客が来てくれるか考え、自分たちに出来ることとして動画を作成しアピールする学習をした。そして、今年度は、その学習を生かしながら取組を進めている。そんな中、5月に行った総合的な学習の時間における授業評価アンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい。」が46.2%ととても低く、意欲的な学習になっていないことが分かる。また、「自分の住んでいる地域が好きで大事にしたいと思っている。」「地域や人の役に立てるようになりたい。」についても76.9%、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある。」「社会人になっても、自分の地域や高知県の為になる仕事がしたい。」は53.8%という実態である。この学習を通して、自分事として地域を知り自分の住む地域の魅力を発信していくことにより、地域のために何ができるか考えることのできる人になってほしいと考える。

○指導観

小単元1「西土佐のすばらしさや独自性を見つけよう」では、修学旅行で他地域のことを知ることと西土佐地域のよさについて再発見することができた。特色が違う地域では、朝起きた時から違いや食文化の違いについて知ることができた。

小単元2「西土佐地域の魅力を多くの人に知ってもらおう」では、中学1年生の時に作成した動画を生かした活動を考え、小単元1で再確認した西土佐地域の魅力が伝わるスライドを作成し、発信していくこととしている。

小単元3「地域の様々な職業について知り、自分の未来につなげよう」では、自己の将来につなげるため、西土佐地域の職業について考えていく。自分たちが生活している地域にある職業や働くことの意義や苦勞について考えることで、将来について少しでも考えることができるようになってもらいたい。

今年度から、特別活動の時間や総合的な学習の時間等には、学級委員を中心に他の生徒も協力しながら会を進めることを提案し取り組んだことで、少しずつ主体的な活動になってきている。1学期中盤からは、めあてを設定し会を進めるなど、少しずつ会の仕方にも慣れてきた。

本時では、西土佐地域の魅力について発信した後の振り返りをする中で、本当に地域の魅力が発信できたのか考え、今後どのようなことが自分たちにできるか考えることで、西土佐小中合同テーマである【「レッツ チャレンジ 西土佐っ子」西土佐を愛し、自分の思いを持って、行動する子の育成】に迫ることができたらと考える。

3 単元の目標

再確認した西土佐地域の魅力を、他地域に発信していく取組を通して、どのように西土佐に貢献できるか、西土佐地域の活性化のために自分たちに何ができるかを考えるとともに、これからの自分の生活や行動に生かすことができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
①地域における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。 ②様々な調査活動を相手や場面に応じた方法で実施している。 ③地域の産業について探究することを通して、身の回りの物事に対しても深く考えることができるようになる。	①自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる。 ②西土佐地域の産業に携わる人々への聞き取り学習を通して、必要な情報を収集している。 ③集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連付けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて、伝え方を工夫しながらまとめ、表現している。	①探究的な活動を通して、自他のよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ②地域との関わりを通して、地域のために自分ができることを見つけようとしている。 ③自分の生き方とよりよい社会の実現を関連付けて考えようとする。

5 指導と評価の計画（全30時間 本時 18/30）

次	時	ねらい（○）と学習活動（・）	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1 ～ 4	○目標達成に向けたゴールを設定し、これからの取組内容について具体的に考えよう。 ・何をすれば目標達成できるのか考える。（目的意識） ・西土佐地域の魅力を誰に発信すべきかを考える。（相手意識）		①		・発言 ・行動 ・振り返り（ノート） ・ワークシート
二	5 ～ 16	○各班のテーマにそって、西土佐の特色や魅力について調べよう。 ・米ナス栽培を体験しながら、農家の方々に活性化について話を聞く。 ・再確認した西土佐の魅力について、発信すべき情報を探す。 ・西土佐を知ってもらうために、相手に伝わるプレゼンをする。 ・実際に伝わったか、アンケートを実施する。	① ②	② ④	① ②	・発言 ・行動 ・振り返り（ノート） ・ワークシート
三	17 ～ 22	○西土佐地域のプレゼンは相手に伝わったのか、効果的だったのか、アンケート結果から探してみよう。 ・アンケート結果を項目別に集計する。 ・効果のあった部分と検討する必要がある部分を整理する。（本時） ・今後、自分たちにできることは何か意見を出しながら検討する。	③	③		・発言 ・行動 ・振り返り（ノート） ・ワークシート
四	23 ～ 30	○文化祭で、これまでの学習について分かりやすく発表しよう。 ・プレゼンをしてみての感想やアンケート結果をもとに発表する内容を考える。 ・相手を意識して分かりやすく発表する。 ・活動を振り返り、今後の生活で何ができるか考える。		④	③	・発言 ・行動 ・振り返り（ノート） ・ワークシート

6 本時の指導

本時の目標	アンケート結果をもとに、プレゼンで効果のあった部分と課題を整理し、その要因と改善点を考える。	
本時の評価規準	集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連づけて考えている。【思】	
情報活用能力	集まった情報を「考えるための技法」を活用して分析する。 批判的客観的に問題を見て、分析する。	
準備物	アンケート結果集計表	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 取組の目的やアンケートの集計結果を確認する。(2分) 2. めあてを確認する。(3分)	・大人は、西土佐に来たことがあるみたいだけど、中学生はあまり来ていないね。	
めあて: アンケート結果からプレゼンで効果のあった部分と課題を整理し、その要因と改善点を考えよう。		
3. 集計結果をもとに、効果のあった部分と課題を分ける。(5分) 4. それぞれの要因を考える。(15分) 【多面的に見る・多角的に見る】 【理由づける】	・うまく伝わったところとそうでないところがあるみたいだね。 ・西土佐に興味を持ってくれた人がいてよかった。 ・興味を持ってない人もいるからどうしたらよかったのかな。 ・受け答えができたことは相手に伝わったね。 ・プレゼンやアンケートの内容はこれでよかったのかな。 ・私たちの欲しかった情報は何だった。	・集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連づけて考えている。 【発言・振り返り】
5. 改善点を考える。(15分)	・やっぱり相手のことを考えた発表やアンケートにしないといけないね。 ・何を知りたいか考えて、アンケートを作成する必要があるね。	
6. 本時の振り返り(8分)	◇求める振り返り(目指す主体的な姿) ◎相手に分かりやすい表現や聞きやすい話し方、効果的な資料などを意識して取り組むことで伝わりやすくなる。(多面的に見る・多角的に見る) ◎アンケートは、知りたいことは何かを意識して作る必要がある。(理由づける) ○今度のプレゼンで、魅力が伝わるような話し方をしたい。(見通す)	
7. 次時の確認(2分)	・アンケート結果から分かった改善点等をまとめ、次のプレゼンや発表に向けた準備をしよう。	

7 板書計画

10 / 5

めあて アンケート結果からプレゼンで効果のあった部分と課題を整理し、その要因や改善点を考えよう。

今日の流れ

- 1 アンケートについて
- 2 めあての確認
- 3 整理・分析
- 4 改善点の確認
- 5 まとめ
振り返り

アンケート結果

効果あり



課題



要因



- ・相手を考えた発表やアンケートが大切!!
- ・何を知りたいか情報を考えてアンケートを作ることが必要!!

- ・相手が聞きやすい話し方をすれば伝わりやすい。
- ・次は魅力が伝わるプレゼンをしたい。